



ふわふわ言葉 ちくちく言葉

校長 豊田 由香

「今日も暑いですね。」という挨拶がよく聞かれるようになりました。本当に日本の春と秋はどこかにいつてしまったような気候が続いています。学校でも熱中症指数を測定しながら、児童の体調に注意をしております。ご家庭でもご協力の程よろしく願いいたします。

さて、6月の生活目標は「友だちとなかよく過ごそう」です。全市立学校の「いじめ撲滅強化月間」でもあり、本校では「人権月間」でもあります。子どもたちには、友達とのトラブルはちょっとした思い違いや相手の行為を悪く受け取ることで起こりやすいこと、友達からいわれていやなことば【ちくちく言葉】を言わないこと。例えば、下記のような言葉です。

【ちくちく言葉】:

○相手を傷つけたり、不快にさせたりするような言葉 自分を傷つける言葉
(へんなの、なんでできないの、じゃま、うるさい、早くして、どうせ・・・) など

それに対して温かい、優しい言葉【ふわふわ言葉】を使うことを中心に、朝会で話をしました。そして、子どもたちに【みんなのふわふわ言葉教えてください】とお願いしたところ、こんな素敵な言葉があつまりました。

【ふわふわ言葉】:

○ありがとう (25 票) ○大好き (11 票) ○大丈夫 (11 票) ○その調子!がんばれ (5 票)
○やればできる (4 票) ○一緒に遊ぼう (2 票) ○一緒に頑張ろう (2 票) ○いいよ (2 票)
○すごいね (2 票)
○1 票の言葉 (元気 手伝おうか ごめんね おはようございます おめでとう やったね
よくがんばったね よくできたね 上手だね 一人じゃないよ すごいね)

子どもたちも、人と人をつなぐ言葉を大切にし、より良いかわりをつくり、自分たちで安心して生活できる環境づくりをしようとしています。私は、言葉について考えるとき、いつも大岡 信さんの「言葉の力」を思い出します。「人はよく美しい言葉、正しい言葉について語る。しかし、私たちが用いる言葉のどれをとってみても、単独にそれだけで美しいと決まっている言葉、正しいと決まっている言葉はない。ある人があるとき発した言葉がどんなに美しかったとしても、別の人がそれを用いたとき同じように美しいとは限らない。それは、言葉というものの本質が、口先だけのもの、語彙だけのものではなくて、それを発している人間全体の世界をいやおうなしに背負ってしまうところにあるからである。人間全体が、ささやかな言葉の一つ一つに反映してしまうからである。」子どもたちの心が成長し、心のこもった「ふわふわ言葉」がさらに増えていくように、教育活動を進めていきたいと改めて思いました。

最後に、6月9日は開校記念日です。創立53周年になります。本校にお力添えいただいている地域・保護者の皆様に感謝申し上げますとともに、笑顔、挨拶がもっとステキな学校になりますよう、尽力してまいります。今月もどうぞよろしく願いいたします。